2015年11月期

決算説明会資料

2016年1月18日(月)

(東証第1部:8095)

イワキ株式会社

©2016 IWAKI&CO.,LTD. All Rights Reserved.

本日のご説明内容

Ⅰ.決算概況

Ⅱ.中長期ビジョン

Ⅲ.中期経営計画

Ⅰ.決算概況

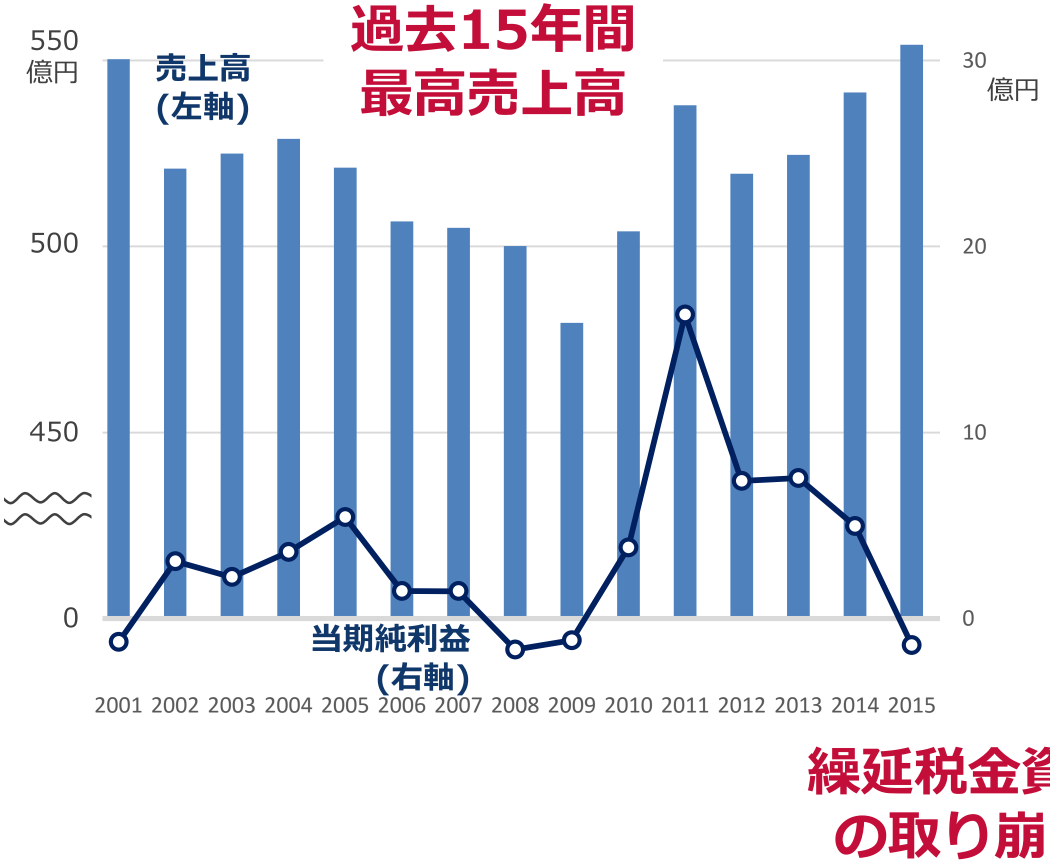
Ⅱ.中長期ビジョン

Ⅲ.中期経営計画

決算概況（2015年11月期）

連結売上高は過去15年間において最高売上高を達成も、
最終損益は繰延税金資産の取り崩しにより純損失を計上。

連結売上高・当期純利益推移



	実績	前期比
売　上　高	554億円	2.4%
営 業 利 益	5.6億円	△37.2%
経 常 利 益	6.9億円	△27.8%
当期純利益	△1.4億円	–

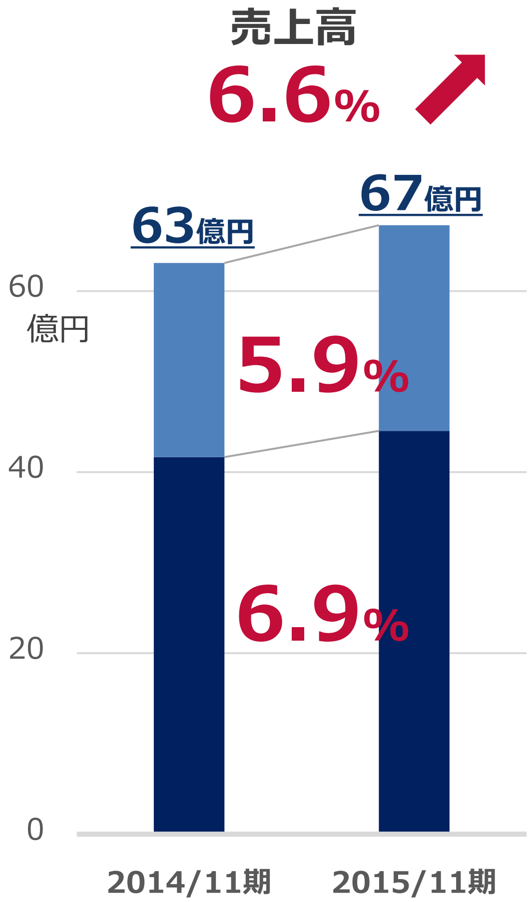
セグメント別の概況

一部市場の不調感・不透明感はありながらも「３勝１敗」という結果に。

セグメント分類		マーケットの概況		トピックス
医薬品	一般用医薬品の卸売	✓インバウンド需要による **免税店向け商品の需要増加**		②インバウンド需要による増収
医薬品	ジェネリック医薬品	✓**後発医薬品使用促進策**による追い風 ✓3年連続の薬価改定		①ジェネリック医薬品関連の増収
医薬品原料・香粧品原料	医薬品原料			
医薬品原料・香粧品原料	化粧品原料	✓インバウンド需要による**最終製品の需要増加** ✓**機能性表示制度**による製品の需要増		②インバウンド需要による増収
食品原料・機能性食品	機能性食品			
食品原料・機能性食品	食品原料	✓輸入原材料価格など**コスト上昇圧力**		
化粧品通販	化粧品通販	✓スマートフォンやタブレットの普及により **市場拡大傾向**		③化粧品通販事業の好調による増益
化成品	表面処理薬品	✓国内マーケットの**低調** ✓韓国・中国も**今一歩**		④繰延税金資産の取り崩しによる減益

①ジェネリック医薬品関連の伸長

後発医薬品使用促進策などを追い風に
ジェネリック医薬品関連事業で合わせて6.6%の増収を達成。



医薬品

自社製品(外皮用剤)

数量ベース11.0%

医薬品原料

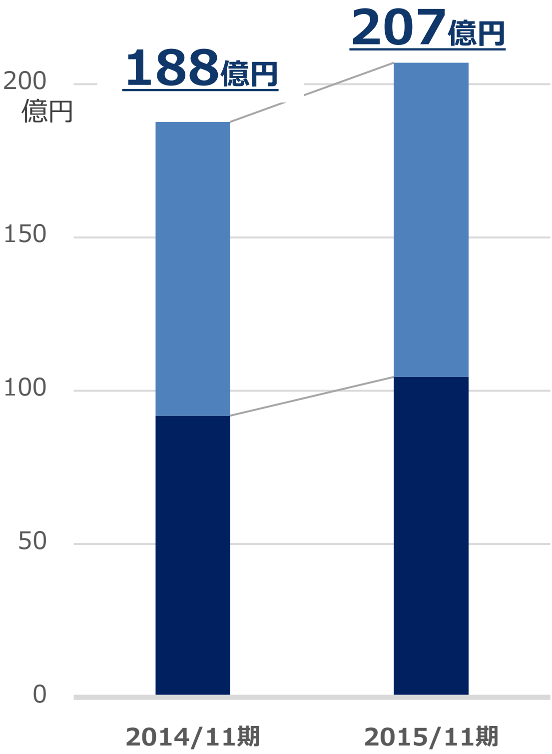
ジェネリック医薬品向け各種原料
(自社製品+取扱い品)

②インバウンド需要による増収

インバウンド需要の増加により10.3%の増収を達成。 （過年度は約2%）

訪日外国人
2000万人突破へ
※2015年見通し

売上高
10.3%



医薬品

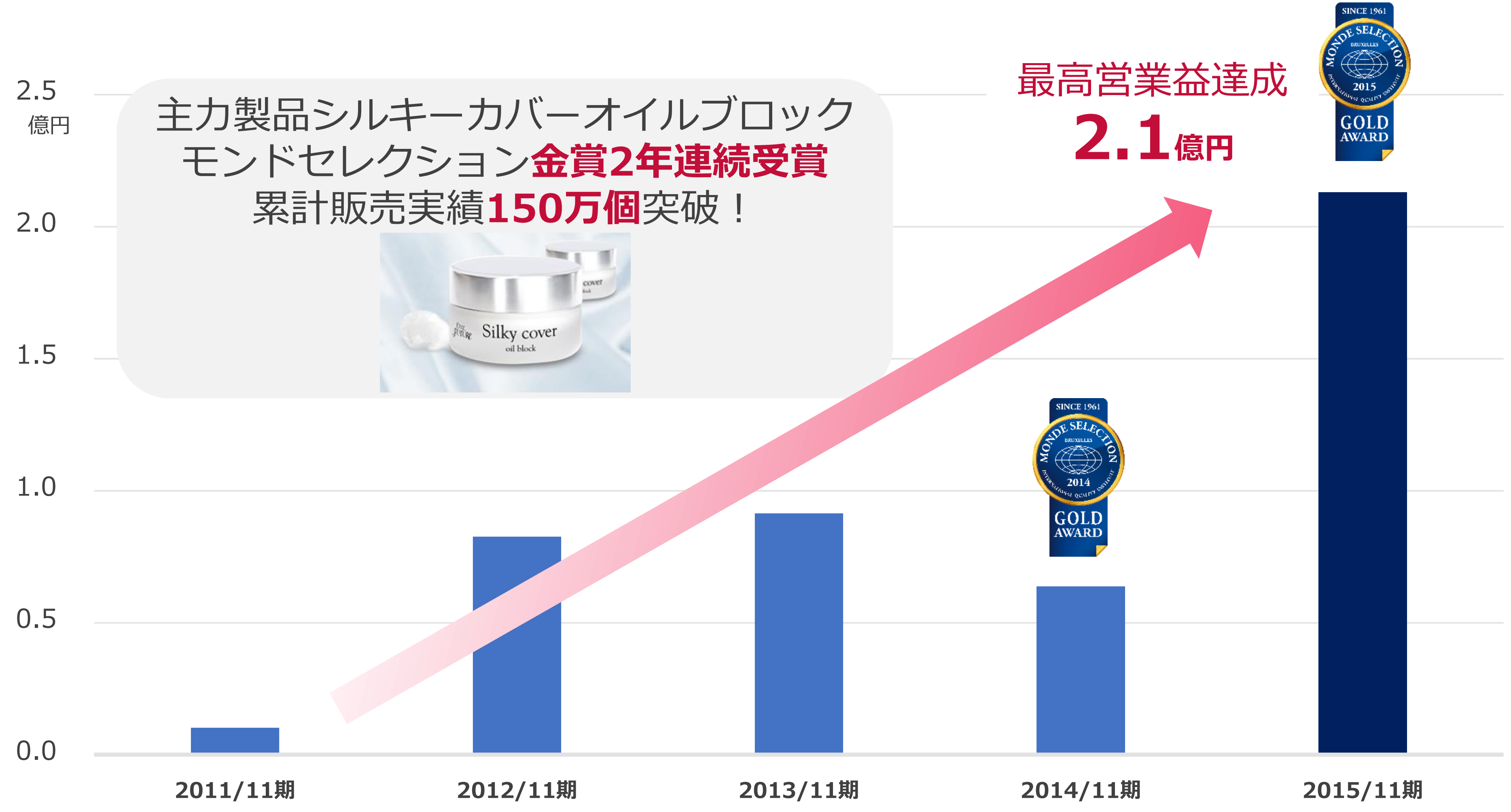
免税店向け商品の卸売
(化粧品、健康食品)

香粧品原料 **機能性食品**

化粧品・健康食品原料
(取扱い品)

③通販化粧品事業の好調による増益

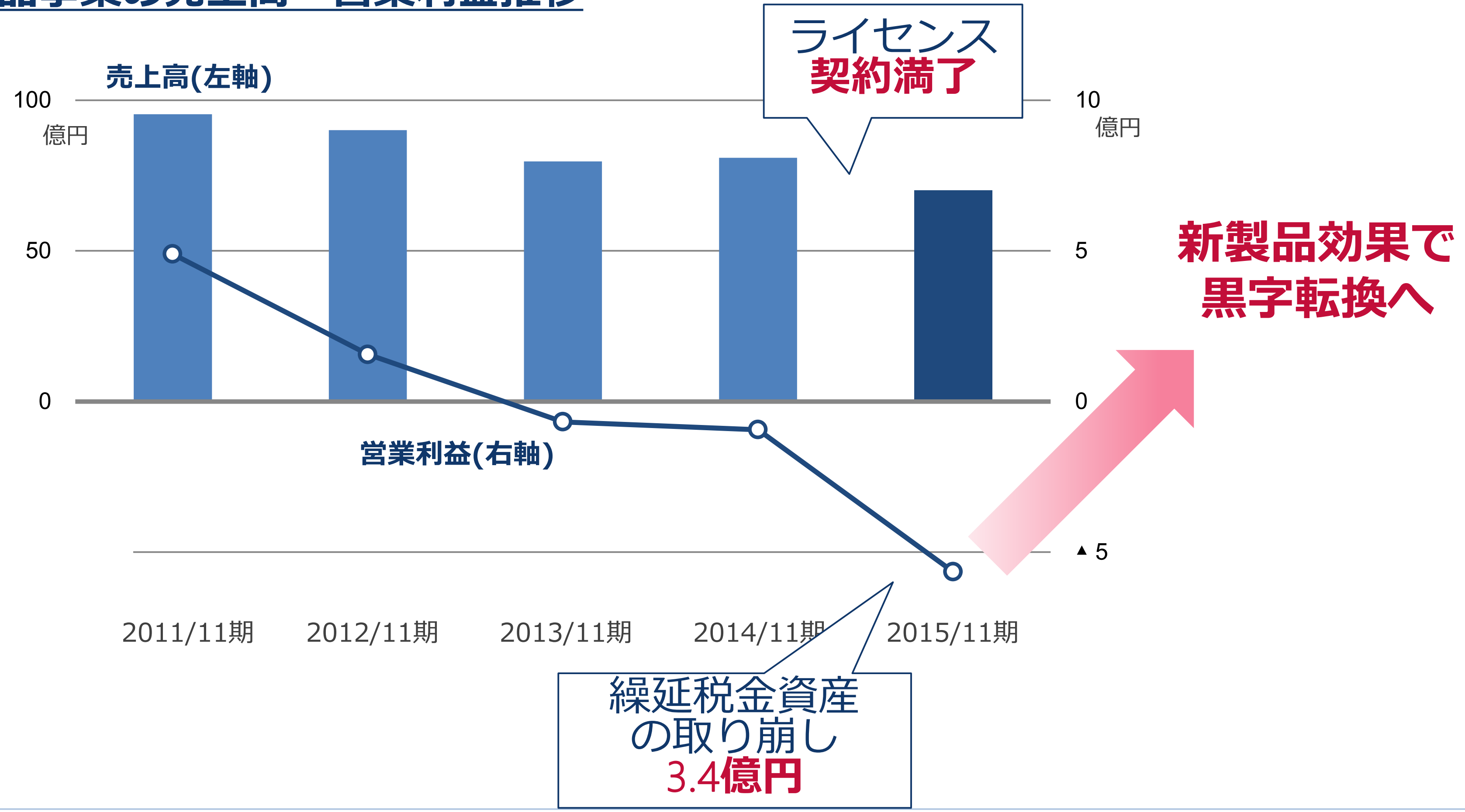
化粧品通信販売事業が好調に推移し、過去最高営業益を達成。



④繰延税金資産の取り崩しによる減益

完全子会社のメルテックスにおいて繰延税金資産を取り崩し。
2016年11月期からの黒字転換を目指す。

化成品事業の売上高・営業利益推移



メルテックス新製品

2015年から全26品目の新製品を投入。世界シェアNo.1を狙える製品も多数。

分野	用途	製品名	販売中	販売予定
半導体	半導体用 硫酸銅めっき添加剤	メルプライム CU-8120	販売中	
		メルプライム CU-8160	販売中	
プリント配線板	用途に合わせ様々な対応可能なプリント配線板用 硫酸銅めっき添加剤 Lucent Copper シリーズ	ルーセントカバー AZ	販売中	
		ルーセントカバー EX	販売中	
		ルーセントカバー ACP	販売中	
		ルーセントカバー SVF	販売中	
		ルーセントカバー HCS	販売中	
	水平処理用無電解銅めっきプロセス	メルプレート H7 プロセス		販売予定
	プリント配線板用脱脂剤	メルプレート CL-1000S	販売中	
	ダイレクトレーザー用 黒化処理剤	メルディップ HI-7100	販売中	
	微細配線用銅表面粗化剤	メルプレート NT-プロセス		販売予定
電子部品	電気ニッケル液	メルブライト NI-2217M		販売予定
		メルブライト NI-2217P		販売予定
	各種電子部品、コネクタ向け すずめっき液	メルプレート SN-2680	販売中	
		メルプレート SN-2680 BK	販売中	
		メルプレート SN-2680 BF1	販売中	
		メルプレート SN-2700	販売中	
		メルプレート CULMO	販売中	
装飾・一般	電子部品から装飾まで対応可能 電気金めっき液 アウルナ シリーズ	アウルナ 555		販売予定
		アウルナ 593	販売中	
		アウルナ 593LC	販売中	
		アウルナ 5000ST		販売予定
		アウルナ 5100		販売予定
		アウルナ 8100	販売中	
	銀めっき液	メルブライト 2525		販売予定
	クロムめっきミスト防止剤	メルブライト CR-MS	販売中	

Ⅰ.決算概況

Ⅱ.中長期ビジョン

Ⅲ.中期経営計画

祝 イワキ株式会社創業五十周年

イワキ株式会社
創業60周年記念社内大

創業70周年記念式典
イワキ株式会社

中長期ビジョン<Vision “i-111”>

“Vision i-111”では

「誰が」「いつまでに」「何を」「どのように」達成するかを定義。

<目標の主体>

IWAKI Group

<目標達成の期限>

111周年

（2025年11月期）

i-111

<４つの基本戦略>

Intelligent

International

Innovative

Investment

<ターゲット>

定量的１１１

と

定性的１１１

中長期ビジョン<Vision “i-111”>

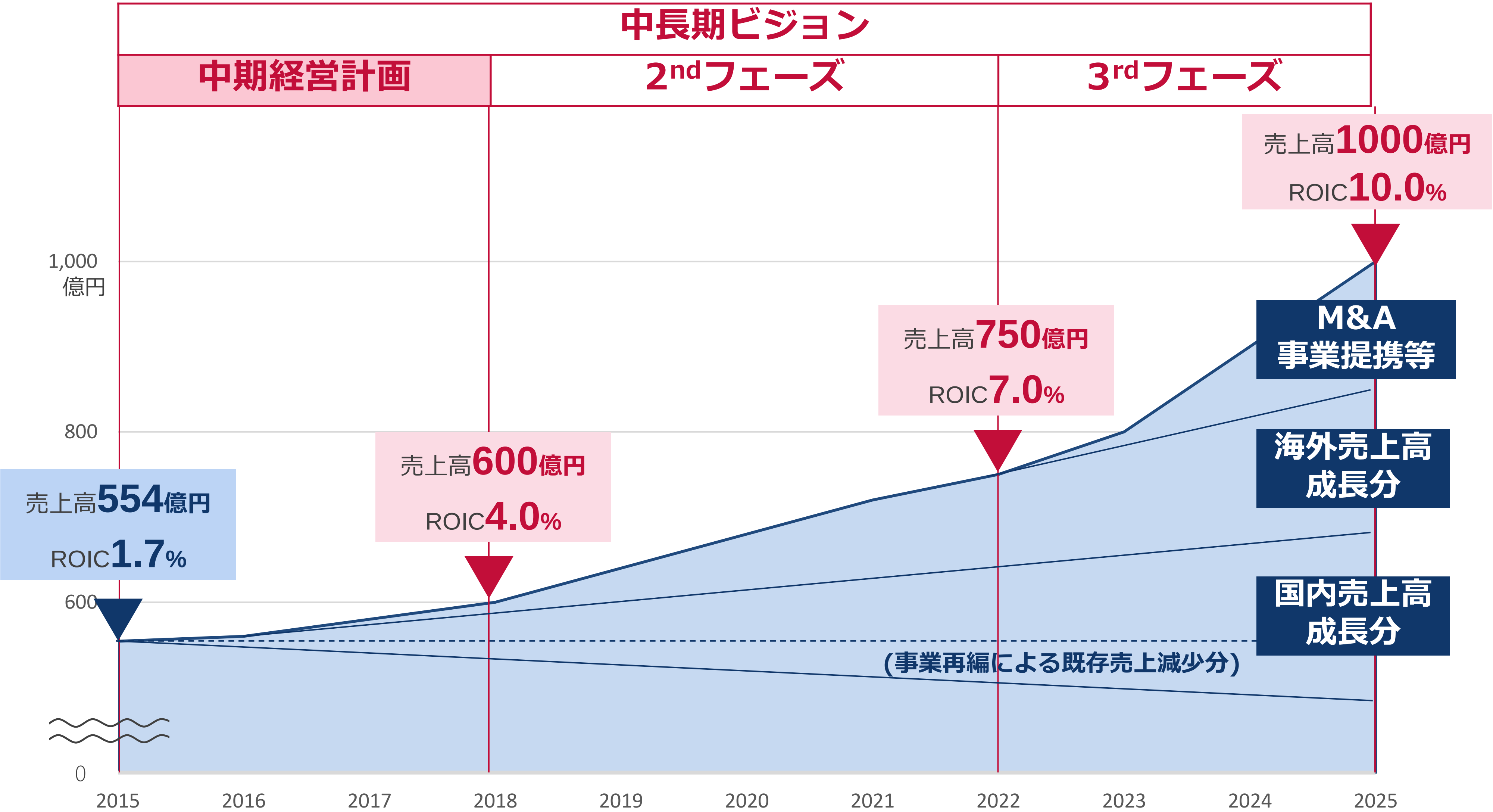
創業111年へ向け、当社史上最もストレッチされた目標値を設定。

創業111周年（2025年11月期）

- 連結売上高 1000億円以上
- No.1 マーケットシェア
- ROIC 10% 以上

定量目標の概略

中長期ビジョン達成へ向け、３フェーズの中期経営計画を策定し実行する。



基本戦略

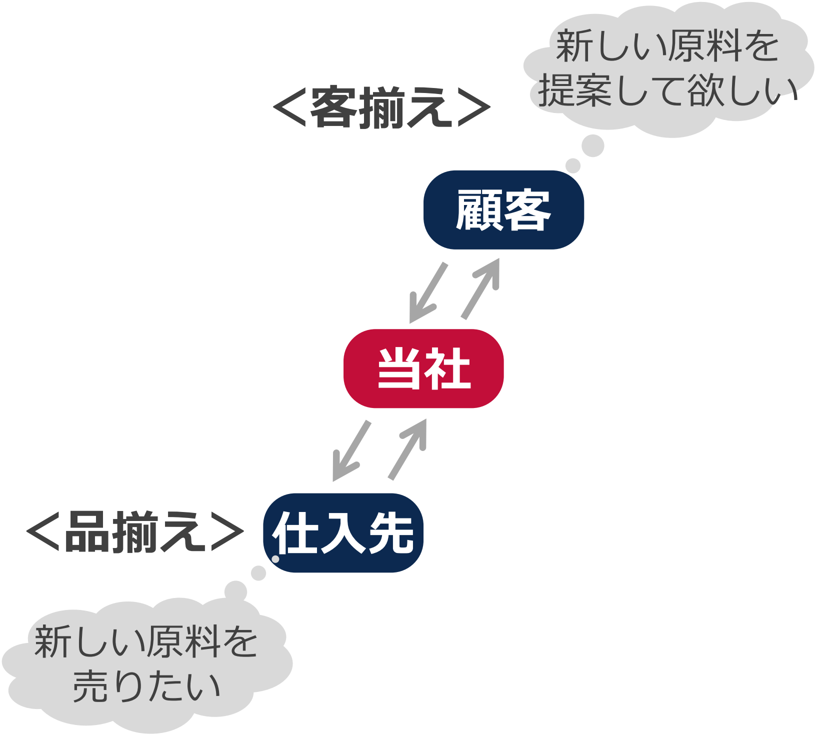
中長期ビジョンの達成へ向けて４つの基本戦略を立案。

目標		基本戦略
連結売上高 **1000億円**	1	Intelligence 「策揃え」企業になる
	2	International 海外市場への事業展開を図る
マーケットシェア **No.1**	3	Innovative 「ナンバーワン」製品・事業に注力する
ROIC **10%以上**	4	Investment 資本効率を意識した事業運営を行う

1.「策揃え」企業になる

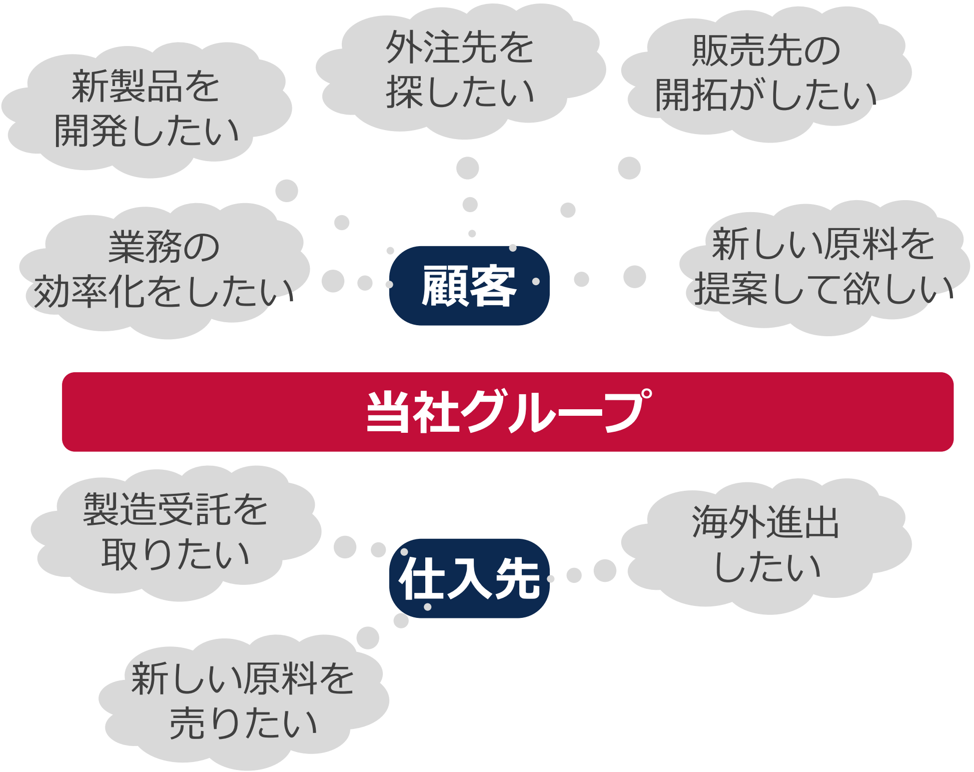
顧客・取引先の課題解決に向け、当社が提供し得るあらゆる機能を提供。
当然、資本参加の機会も窺う。

これまでの当社のビジネス



「品揃え」と「客揃え」マッチングさせるビジネス

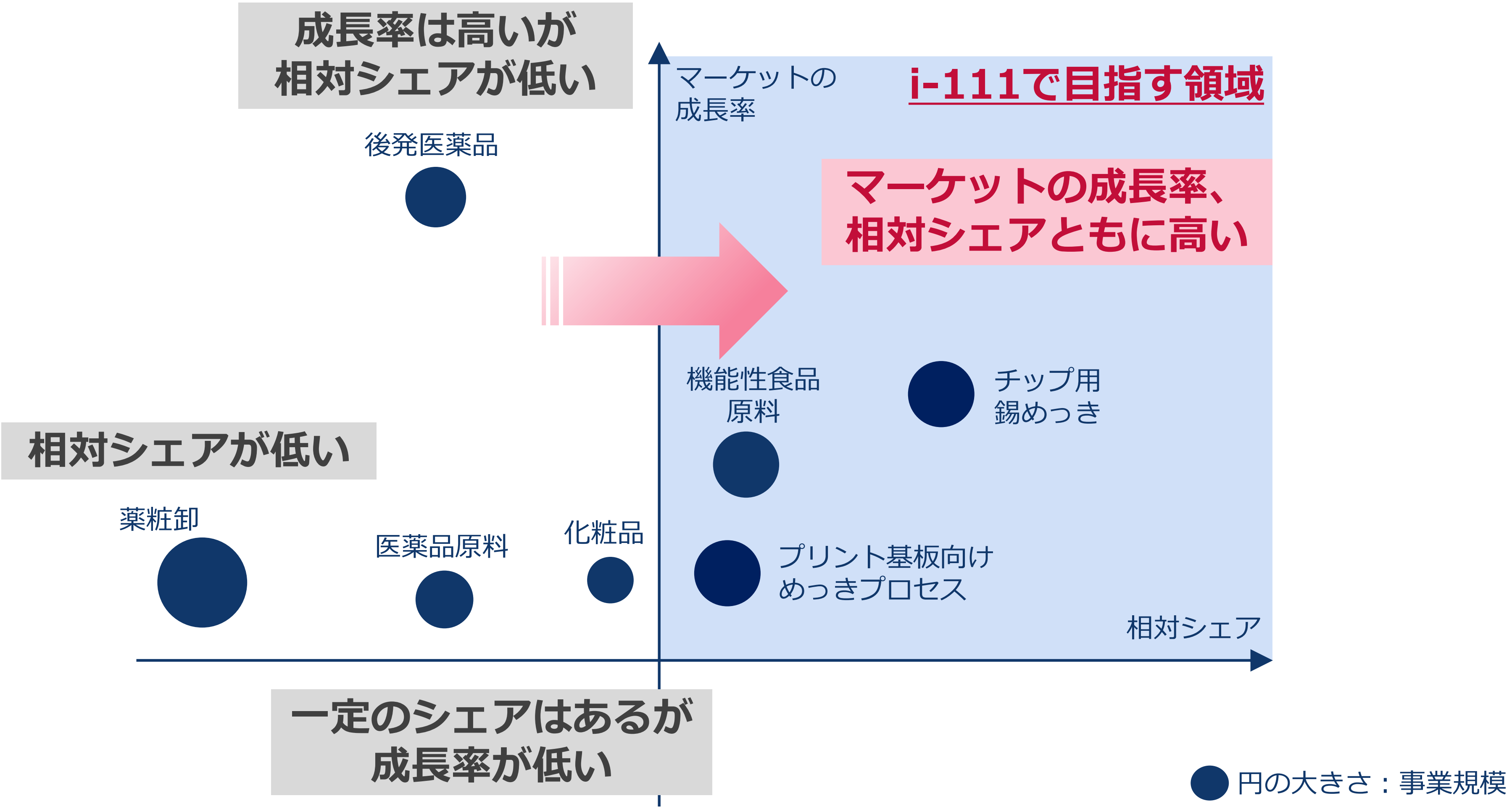
「策揃えビジネス」



すべての顧客課題を解決することで価値を提供するビジネス

2.「ナンバーワン」製品・事業に注力する

成長マーケットにおける相対シェア向上を目指す。



3.海外市場への事業展開を図る

現有の海外拠点9か所をグループ全体で共有・活用。

Korea
Meltex Korea Co., Ltd.

China
Meltex (Tianjin) Ltd.

China
Tokyo Kakoki (Shanghai) Co., Ltd.

Taiwan
Meltex Taiwan Inc.

Hong Kong
Meltex (HK) Ltd.

China
Meltex (Tianjin) Ltd.Shenzhen Branch

Vietnam
IWAKI &CO., Ltd. Ho Chi Minh City Representative Office

Thailand
Meltex Asia Pacific Co., Ltd.

Thailand
Meltex Asia (Thailand) Co., Ltd.

■販売拠点など(7か所)
■製造拠点(2か所)

4.資本効率を意識した事業運営を行う

売上高成長率とROICを重要な経営指標として評価を行い、
資本効率の高い事業ポートフォリオへ再構築する。

	基準値	取り組み
売上高成長率	年平均**6.0%**以上	✓ 既存ビジネスでのオーガニックな成長 ✓ 積極的に海外の新市場を開拓 ✓ 提携や事業買収等の実施
ROIC **(投下資本利益率)**	**10%**以上	✓ 在庫回転率の向上 ✓ 債権・債務回転率の向上 ✓ 遊休資産の売却検討

投資・撤退判断の迅速化

資本効率の高い事業ポートフォリオへ

定性的ターゲット

これまで培ってきた善き企業文化はそのままに、
成熟企業的な行動慣習を改め、経営品質を改革・向上させる。

創業111周年（2025年11月期）になっても

- 100年超の老舗企業としての企業文化や価値観を共有
- 1つのチームとしての一体感を持つ
- Customer 1stを貫く

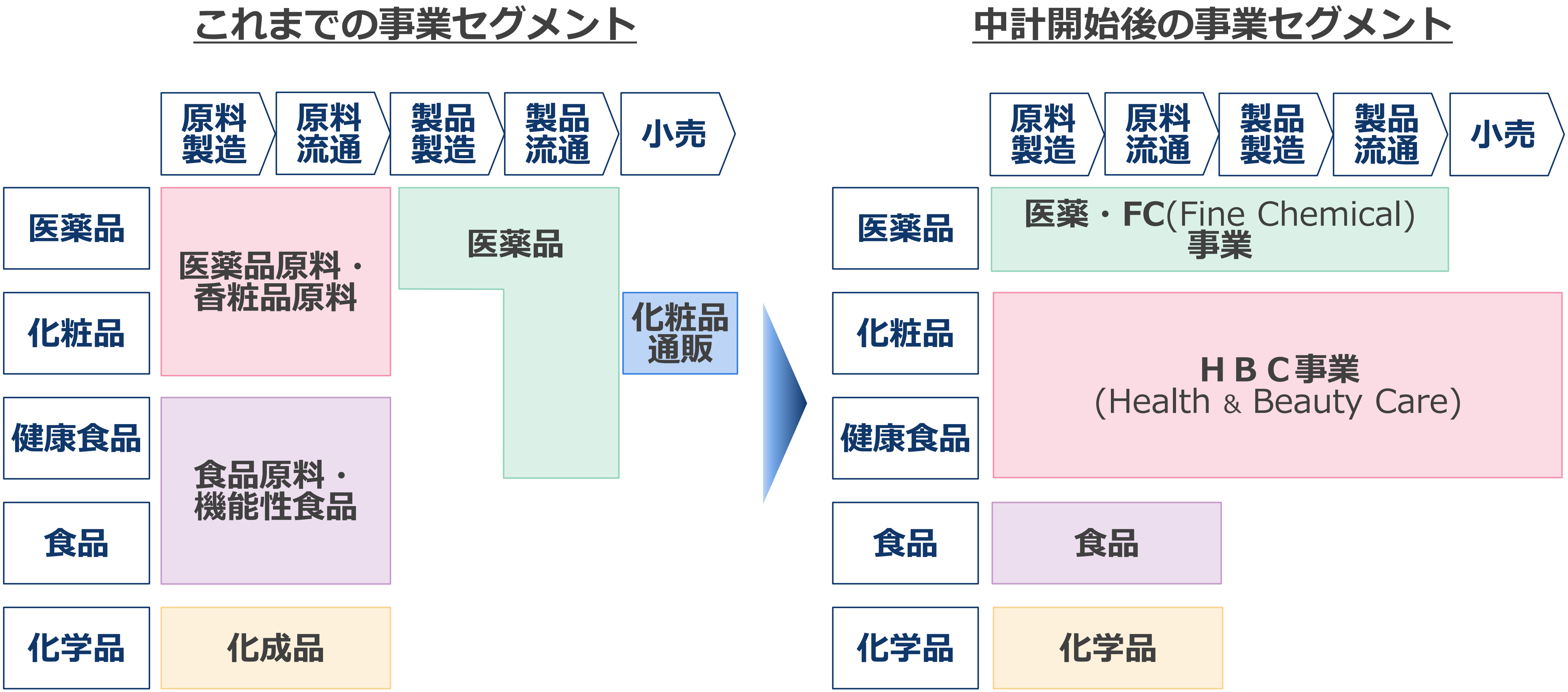
Ⅰ.決算概況

Ⅱ.中長期ビジョン

Ⅲ.中期経営計画

事業セグメントの変更

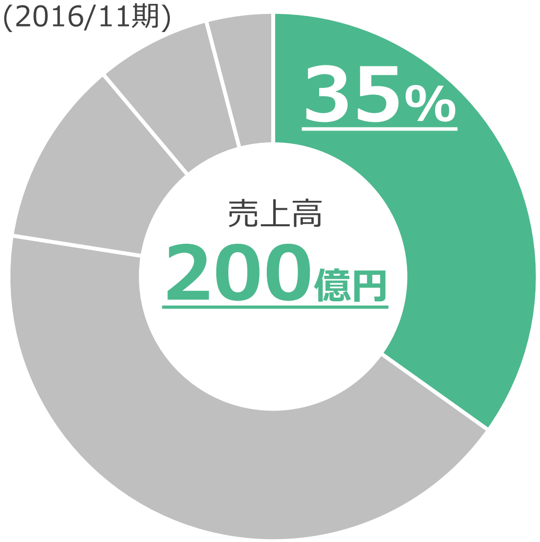
当社グループは、中計の初年度より連結ベースの事業部制に移行。
それに伴い、事業セグメントの分類も変更する。



医薬・FC(Fine Chemical)事業

幅広いバリューチェーンを生かし、さらなる成長の素地を作る。

中期経営計画 初年度
(2016/11期)



中期経営計画 最終年度
(2018/11期)

215億円

イワキ株式会社　岩城製薬株式会社

事業領域

- ✓ 医薬品原料の製造・販売
- ✓ 医薬品(製品)の製造販売

マーケットの概況

- ✓ 国内ジェネリック医薬品市場拡大の見込み
- ✓ 2016年4月より3年連続の薬価改定を予定

事業方針

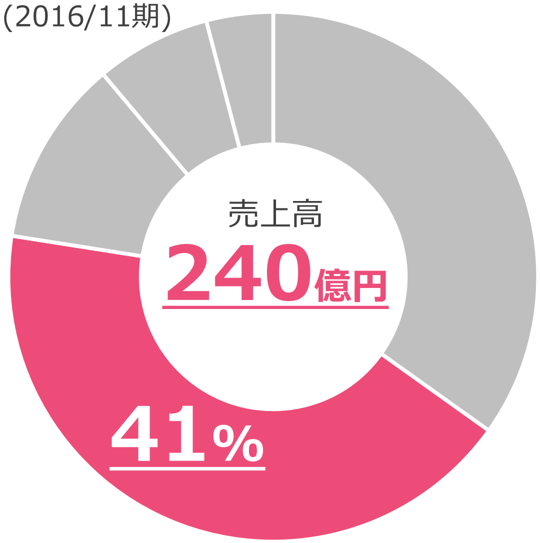
- ✓ **原料選定から最終製品**の提供までを「策揃え」で提供
- ✓ **国内外の医薬関連企業との協業**等を通して、さらなる市場の拡大に努める
- ✓ 海外市場については、静岡工場を環境・衛生・安全(EHS)の観点から一部改修し、欧米の大手製薬会社等から**医薬原料・中間体の安定的な受注の拡大**を目指す

HBC(Health & Beauty Care)事業

インバウンド需要をテコに、強い「日本ブランド」を世界へ。

イワキ株式会社　APROS

中期経営計画
初年度
(2016/11期)



▼

中期経営計画
最終年度
(2018/11期)

255億円

事業領域

- ✓ 化粧品・機能性食品原料の販売
- ✓ 一般用医薬品および関連製品の卸売
- ✓ 化粧品通信販売

マーケットの概況

- ✓ 訪日外国人旅行者によるインバウンド需要増加
- ✓ 機能性表示食品制度がスタート

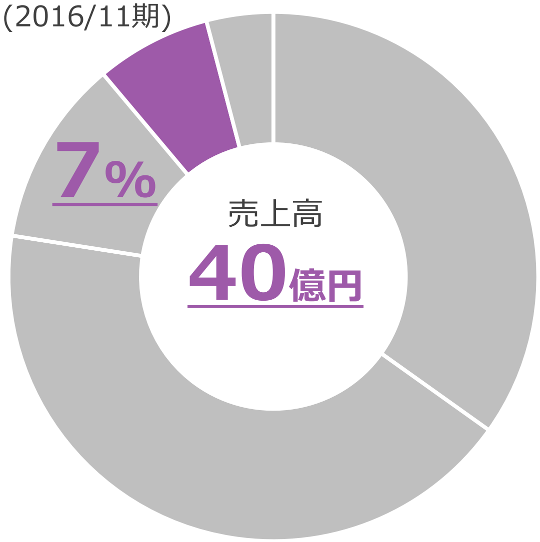
事業方針

- ✓ ＯＥＭやプライベート・ブランド製品の企画・提案を通じ、国内健康食品原料市場における**高い市場シェアを維持・拡大**
- ✓ 海外市場においては、既存の海外拠点や、ベトナムに開設した駐在員事務所等を活用し、**積極的な市場の開拓**を進める
- ✓ 化粧品通信販売事業においては、**ヒット商品**となった「シルキーカバーオイルブロック」の**さらなる販売拡大**
- ✓ ヒット商品にて得た知見をもとに**次なるヒット商品**の**開発・育成**を進める

食品事業

国内は付加価値を、海外へはニッチ製品を。

中期経営計画
初年度
(2016/11期)



中期経営計画
最終年度
(2018/11期)

50億円

イワキ株式会社　ボーエン化成株式会社

事業領域

✓ 食品原料の製造・販売

マーケットの概況

✓ 国内市場の個人消費が横ばい
✓ 輸入原材料価格の高騰
✓ 食の安全性に対する関心が高まる

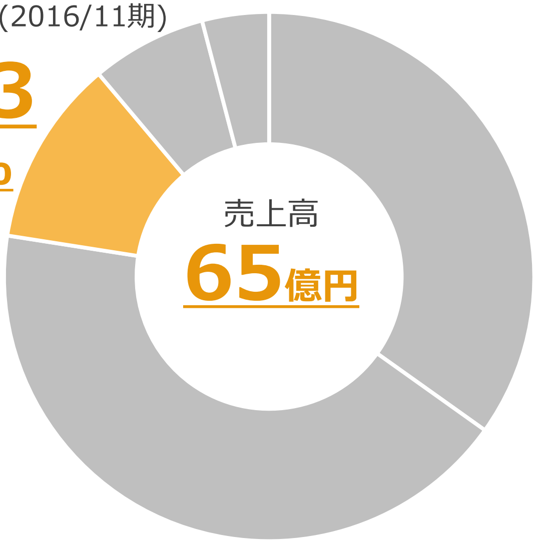
事業方針

✓ 商品開発の効率化や生産コストの低減等の、取引先の**問題解決に主眼**をおいた諸活動を推進
✓ ボーエン化成における**国産・高付加価値製品の受託加工**をさらに強化することで、**市場シェアの維持・拡大**に努める
✓ 海外市場については、**ハラル対応原料に特化**したマーケティングを開始し、マレーシア・インドネシア及び中近東諸国向けの**市場開拓に注力**

化学品事業

世界シェアNo.1を確保しつつ、「第３次創業」により失った市場を奪還。

中期経営計画
初年度
(2016/11期)



中期経営計画
最終年度
(2018/11期)

80億円

Meltex および、その関連会社

事業領域

- ✓ 表面処理薬品・電子工業薬品・化成品の製造・販売

マーケットの概況

- ✓ 国内の電子部品関連市場の回復基調
- ✓ プリント配線板市場は中国市場のスマートフォン販売鈍化

事業方針

- ✓ 高い技術力・ブランド力を持つ、メルプレートＳＮシリーズ（チップ抵抗向けすずめっき）やＵＢＭプロセス（半導体向け無電解めっき）の**世界市場シェアNo.1を確保**
- ✓ 2015年11月期より販売開始をした大型新製品であるルーセントシリーズ（プリント配線板向け硫酸銅めっき）の拡販を通じて、**市場シェアのさらなる拡大**に努める

経営基盤の強化へ向けた取り組み

「人財」と「仕組み」への投資は、グループ横断的プロジェクトで実施。

	主要な取り組み	詳細
経営管理手法の高度化	基幹システムの刷新 社内制度・ルールの再定義	✓ グループ会社全体の**管理部門の効率化**と経営管理機能の強化の取り組みをいっそう加速 ✓ 業務手順を徹底的に見直し、各種の社内制度・ ✓ ルールを再定義すると共に、**業務システム等を更新**
柔軟で自律的な企業風土の実現	人事制度見直し 働き方の見直し	✓ **「グローカル化」**推進を目的とした人財の育成プログラムを新設 ✓ **柔軟なワークスタイル**を選択できる制度等の整備

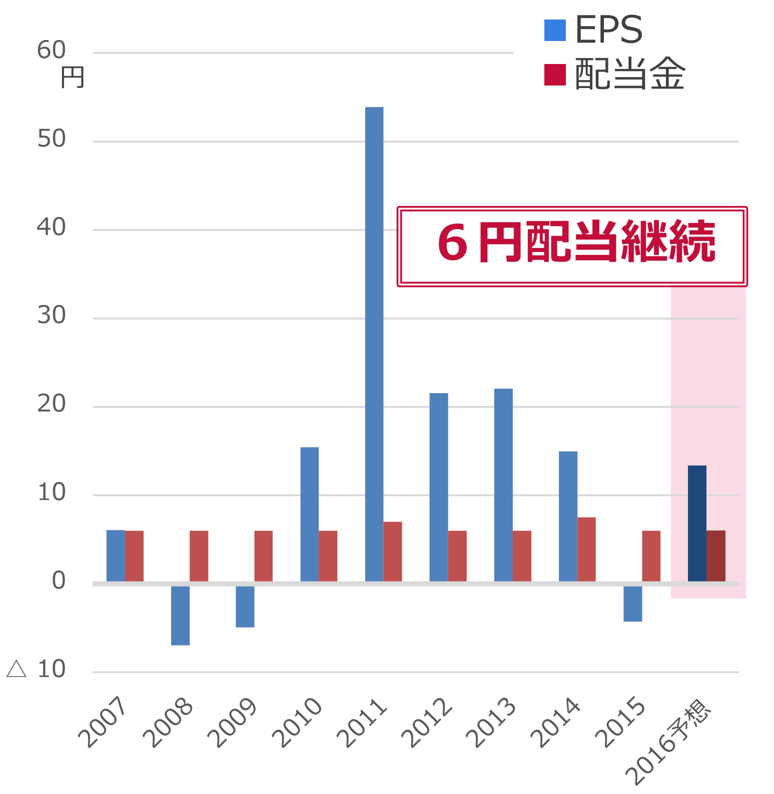
イワキ・グループ全体でCorporate Projectとして取り組む

連結業績の見通し

2016年11月期は中期経営計画の第1年目として着実な成長、利益の確保を目指す。

	見通し	前期比
売上高	560億円	+1.0%
営業利益	8.5億円	+51.9%
経常利益	9.0億円	+29.6%
当期純利益	4.5億円	(+5.9億円)
配当金	6.00円	0.0%

EPS・配当金推移



問い合わせ窓口
イワキ株式会社　経営企画部
Tel:03-3279-0564

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています。
- 本資料には、2016年1月13日開示の過年度訂正を反映した数値を記載しております。